

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

豊橋市高校生・大学生SDGsアクション

タイトル みんな違ってみんな良い！



活動実施日

20230808

目指すSDGsゴール

3 すべての人に健康と福祉を

解決したい地域の課題「現状」

障がい者について可哀想だと言う人、嫌悪感を抱き距離を置く人などを暮らしの中で見てきたのが事実だ。私も思ってしまった事がある。それは障がいを患っている方々との交流が目立たないからなのではないかと考えた。

目指す将来の姿「目標」

目指す将来の姿は、障がいを持っている人との交流が盛んな市。障がいをもっている人ももっていない人も皆同じで、その中に個性が見えるだけだと思えるような交流の場面がたくさんあると良い。支え合い、助け合うことで困難な動作も乗り越えられ、すべての人にとってより生きやすい豊橋市になったら良いと思う。

活動の内容

豊橋あゆみ学園のボランティアに参加し、1時間程お子さんたちと活動した後に園内の清掃をした。まずは、園児2人、親御さん2人、先生2人、自分の計7人で新聞紙を使って遊んだ。新聞紙は、破ったり丸めたり折ったり被せたり思い思いに形を変えて遊んだ。園児が一人帰ったかあとで、もう一人の子の歩行練習を兼ねて遊んだ。園児と親御さんが帰った後は、園内の清掃に取り掛かった。使ったものの消毒が主な仕事であった。

活動した成果・気づき

豊橋あゆみ学園とは肢体不自由児通園施設として開園した所で、通園している園児は運動面や発達面に心配のある子たちだ。活動を通して分かった事は、どの子も普通の可愛い子どもであったこと。笑ってはしゃいで予想外なことをして、子どもらしさ全開で接してくれた。同じ目線に立って一緒に物事を考え取り組んだ時間は「障がいがあるのは可哀想だ」という考えを180度変えた。もっと交流の機会を増やすべきだと思った。